

## ティーチング・ポートフォリオ

大学名：大手前短期大学 所属：医療事務総合学科 名前：小椋 千里 作成日：2024年12月20日

### 1. 教育の責任

医療事務総合学科において医療事務のスペシャリストとなりチーム医療の一員として医療現場の様々な場面に応じた業務を行う事を通じて社会貢献を行うことができるように幅広い教養と専門知識、技能を学修する。

「フォーラム A・B」(春学期・秋学期 33名)

「ゼミナール A・B」(春学期・秋学期 19名)

「医療事務基礎 I・II」(春学期 33名)

「医療事務演習 I・II」(秋学期 33名)

「医師事務作業補助者演習 I・II」(秋学期 34名)

「医療事務演習 (病院実習)」

「インターンシップ」

### 2. 教育の理念

本学の表情豊かな教養有る人格の完成を目指した学園創立の精神に基づき、医療事務について教授、研究し、専門教育を通して知識と優れた人材を育成することを目的とする。

### 3. 教育の方法

- ・「フォーラム A・B」では基礎学力の向上を目指し SPI 非言語分野・言語分野の問題演習を実施。定期的にテストを行い、理解度を確かめ医療事務の資格試験に備えて問題にも取り組む。また学生の出席、成績、生活状況などを把握するため面談を実施する。また就活に備えてのアドバイスも行う。
- ・「ゼミナール A・B」では「医療事務実務者認定試験」の資格取得に向けて基礎から学びなおし、過去問に取り組む。また本来のゼミナールの目的である医療事務研究として「チーム医療」「医師事務作業補助者」「医療事故」「D-MAT」などそれぞれが研究テーマを決め PowerPoint を作成してプレゼンテーションを実施。卒業論文の作成へとつなぐ。
- ・「医療事務基礎 I・II」では医療費の算定方法を学び、医療事務の基本である窓口・受付が行える知識と技術を学修する。
- ・「医療事務演習 I・II」では「医療事務基礎」から発展してより難易度の高いカルテ症例の算定を行い、外来だけではなく入院施設のある医療機関で就業ができるように知識と技術を高める。
- ・「医師事務作業補助者演習 I・II」では 2024 年度に導入された医師の働き方改革に伴い、医師の負担軽減をめざし、医師事務作業補助者として電子カルテの代行入力、各種文書作成、基礎医学、薬理学、保険制度、医療安全管理、個人情報保護法について学修する。より高い知識と技術が必要となる資格試験に向けての学修を行う。
- ・「医療事務演習」は実際に医療機関で受付などの医療事務の仕事を体験することで、学修している内容の理解や各自が目指す医療事務者を確立する。  
5 日間の実習で毎日の実習記録作成し、実習修了後には報告書を作成する。また実習前には、マナーや保険制度、医療費の算定などの復習し、医療機関で必要な知識の再確認をおこなうため事前研修を実施する。
- ・「医科 2 級医療事務実務能力認定試験」「医師事務作業補助者実務能力認定試験」「医療事務実務者認定試験」などの資格試験に備えて、問題作成し対策講座を実施する。

### 4. 教育の成果

授業アンケートや C-POS などでは「授業はわかりやすい」「理解ができた」などの意見が多数ある。

資格試験の向けての学科問題、カルテ症例などを作成し対策講座を実施。

また自習できる教室の確保、またそれぞれの質問や疑問に答えるべく学習会を開き授業時間以外に対応した。

## ティーチング・ポートフォリオ

大学名：大手前短期大学 所属：医療事務総合学科 名前：小椋 千里 作成日：2024年12月20日

### 5. 改善への努力と今後の目標

PC 必携ではあるが医療事務の基本は電卓での医療費の算定が中心となるため、授業での PC の使用はしていないが毎回ホームワークとして Web 課題を出し PC で解答を提出するようにしている。より一層 PC に慣れることをめざし、また医療事務の問題にも取り組む事ができるように改善していく。

### 【添付資料】

特になし